

# 令和6年能登半島地震

## TMAT 災害医療活動報告

2024年1月14日 7:00

### 第12報

1月13日

8:00

TMAT ミーティング

健康チェック

隊員の体調不良者はなし。

本日の業務について打ち合わせ。

午前

福祉避難所の入所者のADL、認知状態を確認し部屋のレイアウト変更を行った。

輪島高校の隔離避難所より、隔離解除となった方のADL低下により介護度が上がったため、福祉避難所への受け入れ要請が入り対応。

感染症部屋にいた避難者が隔離解除となり、元の避難所へ戻ったため感染症部屋の避難者が0となった。

鳳至小学校のゾーニングが完成したため撤収し、今後の対応を昨日から入った支援ナースに引き継ぐ。

また、本日よりDMATのゾーニングチームが4隊入ることになりTMATへレクチャー依頼がありレクチャーを行った。

12:00

本隊第2陣6名が決定。金沢駅へ集合し、ワンボックスカーにて輪島市を目指す。

**本隊【第2陣】**

医師 浦部優子

看護師 栗原綾子（山形徳洲会病院）

看護師 原田生代美（武蔵野徳洲会病院）

看護師 齊藤巧（出雲徳洲会病院）

薬剤師 加藤恭平（古河総合病院）

救急救命士 関根龍晟（生駒市立病院）

午後

DPAT の巡回があり対象者の診療を依頼。

2 階 3 階の避難者の処方薬の持参状況を行い、受けられない処方の確認を実施。

3 階の避難者の ADL 低下があり、介助が必要となったため福祉避難所へ移動を行った。

16 : 00

本隊第 2 陣 6 名到着。懸念されていた渋滞も本日は発生しておらず、予定通りに到着。

活動拠点でのオリエンテーションを行った。

本日の診療は 26 名依然として消化器症状・呼吸器感染症の患者が約 70%であるが、患者数は減少傾向にある。

なお、令和 6 年能登半島地震 TMAT 支援活動のクラウドファンディングを開始しています。ご支援ご協力をお願いいたします。

TMAT 令和 6 年能登半島地震クラウドファンディング

<https://congrant.com/project/npotmat/9905>



本隊第 2 陣左上から 齊藤看護師、関根救急救命士、加藤薬剤師  
栗原看護師、原田看護師、浦部医師

事務局担当

野口 幸洋 (NPO 法人 TMAT 事務局長/一般社団法人徳洲会東京本部)

阪木 志帆 (NPO 法人 TMAT/一般社団法人徳洲会東京本部)

文責 事務局 野口 幸洋